

Management Philosophy

和 新 正

社は「正・新・和」

「正」 公正にして明朗なること

「新」 進取積極的にして創意工夫を図ること

「和」 互いに人格を尊重し親和協力すること

経営理念

丸紅は、社は「正・新・和」の精神に則り、公正明朗な企業活動を通じ、経済・社会の発展、地球環境の保全に貢献する、誇りある企業グループを目指します。

丸紅行動憲章

丸紅は、公正なる競争を通じて利潤を追求する企業体であると同時に、世界経済の発展に貢献し、社会にとって価値のある企業であることを目指します。これを踏まえて、以下の6項目を行動の基本原則とします。

1. 公正、透明な企業活動の徹底
2. グローバル・ネットワーク企業としての発展
3. 新しい価値の創造
4. 個性の尊重と独創性の發揮
5. コーポレート・ガバナンスの推進
6. 社会貢献や地球環境への積極的な関与

Contents

2 丸紅の歩み

4 丸紅の経営戦略を振り返る

——2006年から現在までの中期経営計画概要

CHAPTER 1 STRATEGY 経営戦略

6 社長メッセージ

12 丸紅の価値創造プロセス

14 サステナビリティ行動計画・目標

16 ステークホルダー・エンゲージメント

18 丸紅の4つのビジネスモデル

18 ビジネスマネジメント別経営指針

20 セールス＆マーケティング事業(ヘレナ社)

22 ファイナンス事業(PLM社)

24 安定収益型事業(IPP事業)

26 資源投資(ロイヒル鉄鉱山プロジェクト)

28 リスクマネジメント

30 デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

32 CFOメッセージ

34 事業・投資戦略の具体例

——「セールス＆マーケティング事業」における成長戦略

36 財務ハイライト

38 財務データ

39 非財務データ

CHAPTER **2** MANAGEMENT FOUNDATION 経営基盤

- 40** コーポレート・ガバナンス
- 40** Marubeni Dialogue 1
 - 社外取締役インタビュー
- 42** コーポレート・ガバナンス At a Glance
- 44** 取締役
- 46** コーポレート・ガバナンスへの取り組み
- 56** サステナビリティ
- 56** Marubeni Dialogue 2
 - 持続的経営を目指して
- 58** サステナビリティへの取り組み
- 68** 役員一覧

CHAPTER **4** CORPORATE INFORMATION 企業情報

- 98** 連結決算 At a Glance
- 100** 経営者による財政状態及び経営成績の分析
- 105** 事業等のリスク
- 108** 連結財務諸表
- 116** グローバルネットワーク
- 118** 主要連結子会社及び関連会社
- 123** 会社情報
- 124** 株式情報
- 125** 環境データ及び社会性データについての第三者保証

CHAPTER **3** OPERATING ACTIVITIES 事業活動報告

- 70** 組織図
- 72** 営業グループ At a Glance
- 74** 営業グループ
 - 74** 食料グループ
 - 78** 生活産業グループ
 - 82** 素材グループ
 - 86** エネルギー・金属グループ
 - 90** 電力・プラントグループ
 - 94** 輸送機グループ

編集方針

「統合報告書2018」は、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、広く社会の信頼を得ることを目的としています。丸紅グループの企業価値をより体系的にご理解いただくために、企業価値と社会価値の共創を目指す姿を、統合報告書としてまとめています。丸紅グループの事業戦略とともに、ビジネスを通じた社会的課題の解決にいかに取り組んでいるかを知りたいだければ幸いです。

なお、本冊子では、報告対象期間の年度表記を2018年3月期(2017年4月1日～2018年3月31日)としています。

将来見通しに関する注意事項

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性がありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。

会計基準に関する注記

2013年3月期までは米国会計基準(U.S. GAAP)ベース、2014年3月期以降は国際会計基準(IFRS)ベースで記載しています。

また、本冊子では「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「連結純利益／当期利益」と表記しています。